

## 編集後記

### <特集：自動車用材料・技術>

\*現在当社では、自動車軽量化材料を中心とした事業成長戦略を掲げており、研究開発の面においても多くの経営資源をこの分野に投入しています。こうした中で企画しました本特集号では、多数の論文・解説記事が集まりました。紙面の関係上、それらすべては掲載できませんが、当社の研究開発成果の一端を本号でご紹介します。

\*あらためて本号をながめると、自動車分野における研究開発対象の多様さに驚かされます。製品の種別についてみると、車体の軽量化や安全性、耐久性確保に役立つ鉄鋼、アルミなどの素材はもとより、駆動系などの機構部品の材料、電気系部品用の材料など多岐にわたります。

\*また技術開発のねらいについてみますと、自動車の性能や品質向上に資する材料の開発に関わるもの、材料の特長を生かした合理的な設計技術や評価技術に関

わるもの、顧客における生産性向上をねらったもの、さらにはグローバルに同一品質のものを生産することをねらったものなど実にさまざまです。

\*これらは多様な技術の複合から成り立ち、かつダイナミックに変革を遂げる自動車メーカーの車づくりに全力で向き合い、顧客の抱える課題に対して素材メーカーの立場から解決策を提示し続けてきた結果と思います。引き続き素材メーカーとしてこの姿勢を貫いていく所存です。

\*なお、自動車車体用材料については過去にも特集号を発行しておりますほか、本号の関連文献一覧に示した多くの記事を発行しております。これらも併せて参照いただき、ぜひ今後の車づくりを考えるヒントにしていいただければと存じます。

本特集号に対するご意見、ご感想をお待ちしております。

(鹿嶋正人、小西晴之)

## 次号予告

### <特集：機械（産業機械・圧縮機）>

\*当社の機械事業は1915年の往復動圧縮機の製造以来、100年以上の歴史を重ねています。その間、世界を取り巻く環境の変化と世の中のニーズに応じて特徴ある機械をメニューに加えてきました。現在、当社の機械事業は、産業機械事業部と圧縮機事業部の二つの事業部を軸として運営しています。

\*産業機械事業部では、タイヤ・ゴム機械、樹脂機械、製鉄機械や等方圧装置（HIP・CIP）などの広範囲にわたる機械を製造、販売しています。

\*タイヤ・ゴム機械では、性能が向上した自動車用タイヤの生産性向上に貢献する新技術を搭載した混練機と試験機を、樹脂機械ではプラントの大型化や新しい高性能なプラスチック材料に対応した混練造粒装置を開発するなど、技術の高度化に努めて顧客のニーズに広く応えています。また、製鉄機械においても新技術を適用した機械設備を開発し、鋼材製品の高品質化に役立っています。新しい冷却機構を備えて生産性を向上させたHIP装置、食品への高圧処理に対応した横型CIP装置などユニークな製品メニューも有しています。

\*圧縮機事業部では、圧縮機の総合メーカーとして各種プラント・工場向けにスクリュウ・ターボ・レシプロ式の各圧縮機を

製造、販売しています。それらに加えて、動力回収ラジアルタービンやバイナリー発電装置といった省エネルギー・環境対応製品もラインナップし、幅広い顧客のニーズに応えています。

\*スクリュウ圧縮機は、世界トップメーカーとして大風量の油冷式スクリュウ圧縮機や高圧の無給油式スクリュウ圧縮機を開発し、各種プロセスガス用途にその適用範囲を広げています。ターボ圧縮機ではプラントの大型化に対応するため、高効率で信頼性の高い新インペラを搭載した超大型ターボ圧縮機を開発しました。レシプロ圧縮機では、LNG船エンジンへの燃料ガス供給用の高圧圧縮機や、水素ステーション用の高圧水素圧縮機を開発し、エネルギー分野でもその用途を拡大しています。また、プラントからの高温の排熱を利用して動力を回収するラジアルタービンや、船舶のエンジンの排熱を有効利用して発電するバイナリー発電装置など、環境面での効果を期待できる製品も開発しています。

\*次号では、「機械（産業機械・圧縮機）特集号」として、これら当社の産業機械ならびに圧縮機の最新の製品動向や新技術の一端をご紹介します。当社の機械製品をご理解いただける一助となれば幸いです。

(佐成弘毅)

## <<編集委員>>

委員長	三宅俊也
副委員長	中川知和
委員	鹿嶋正人
	小西晴之
	佐成弘毅
	清水弘之
	高松宣之
	藤前恭志
	田崎道弘
	松崎毅
	三村毅

<五十音順>

本号特集編集委員	鹿嶋正人
	小西晴之

## R&D 神戸製鋼技報

第66巻・第2号（通巻第237号）

2017年3月2日発行

年2回発行

非売品 <禁無断転載>

発行人 三宅 俊也

発行所 株式会社 神戸製鋼所  
技術開発本部  
〒651-2271  
神戸市西区高塚台1丁目5-5

印刷所 福田印刷工業株式会社  
〒658-0026  
神戸市東灘区魚崎西町4丁目  
6番3号

お問合わせ先 神鋼リサーチ株式会社  
R&D神戸製鋼技報事務局  
〒651-2271  
神戸市西区高塚台1丁目5-5  
(株)神戸製鋼所内  
FAX(078)992-5588  
rd-office@kobelco.com

2017年 3月 2日

各 位

(株)神戸製鋼所  
技術開発本部

「R & D神戸製鋼技報 Vol.66, No.2」お届けの件

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、「R & D神戸製鋼技報 Vol.66, No.2」を発行しましたのでお届け致します。  
ご笑納のうえご高覧いただきましたら幸甚です。

なお、ご住所・宛先名称などの訂正・変更がございましたら、下の変更届に必要な事項を  
ご記入のうえ、FAXあるいはE-mailにてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

神鋼リサーチ株式会社  
R&D神戸製鋼技報事務局 行  
FAX 078-992-5588  
rd-office@kobelco.com

変 更 届

	変 更 前	変 更 後
貴社名		
ご所属		
ご住所	〒	〒
宛名シール 番号	No. _____ ←(封筒の宛名シール右下の番号をご記入下さい)	
備 考		
本紙記入者	お名前：	TEL：